

品番 XL3000

品番 XL3010

品番 XL3050 共通



呼出しボタン付 LED光と音でお知らせ ワイヤレス呼出しピカフラッシュセット 取扱説明書

ご使用前に

このたびは「ワイヤレス呼出しピカフラッシュセット XL3010」をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱い説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。また、この説明書は購入日を証明するレシートなどと共に、大切に保管してください。

安全上のご注意

⚠ 警告 【人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容】

- 乾電池のプラス(+)、マイナス(-)を間違えてセットしないでください。間違えてセットしますと乾電池が急激に発熱し爆発や液漏れにより損傷を負うことがあります。液が皮膚に付着した場合は、すぐに液を流水で良く洗い流してください。目に入った場合は医師にご相談ください。また、飛び散った液はティッシュペーパーや雑巾等できれいに拭き取ってください。
- 外した電池は、小さなお子様の手が届かないところで保管するか廃棄してください。

⚠ 注意 【人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容】

- 機器を投げない。落下させない。(人に当たるとけがをする可能性があります。)(本体ケースが落下により破損・動作不良になった場合は、保証の対象にはなりません。)
- 電池切れで動作しなくなったらすぐに電池を外す。使用しないで保存するときは、必ず、電池を抜いておいてください。(液漏れにより機器を壊す、置き場所の床やカーペット、家具などを汚す恐れがあります。)
- ACアダプターと電池を併用しない。電池が液漏れして機器を壊す可能性があります。
- 分解、改造、修理などしない。(火傷や感電の原因になります。)
- 異常が発生したら電池を取り外す。(発熱、発火の原因になります。)
- 高温の場所(ストーブの近くや車の中など)に置かない。使用しない。(故障や電池の液漏れ、誤動作の原因になります。)

使用するにあたって

- XL3000を使用するには、必ず新品電池(単2形アルカリ電池×3本)を別途ご用意ください。
- XL3000は受信機ですので、動作させるには送信機X10と組み合わせてご使用ください。使用する際は、XL3000と送信機を同じID(記号と番号)にします。詳しくは後記の説明をご覧ください。
- XL3000は同一IDにすれば、Xシリーズの複数個の各種送信機を増設することができます。

使用上のご注意

1. 製品について

- LEDの交換はできません。
- 商品の特性上、LED光の色や明るさにバラツキが出ることがありますが、不良ではありませんのでご了承ください。
- LED光の明るさは、電池の残電圧が下がると暗くなる場合があります。
- LED点灯時間および点滅間隔の調整はできません。
- XL3000は周囲の明るさに関係なくXシリーズからのID電波を受信したときに点灯します。
- 屋外に設置する場合は、軒下であっても風雨に煽られて落下しないようしっかりと固定してください。
- 機器を落下させないようにご注意ください。落下させて破損又は故障した場合は保証の対象にはなりません。
- パッケージを開封するときに手や衣服を傷つけないよう、ホッチキス止めの取り扱いにはご注意ください。
- 仕様及び外観・外装は改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2. 電池について

- 電池は3本とも新品、同一メーカー、同一ロット生産の単2形アルカリ電池をご使用ください。異なるメーカーのものを混ぜる、新旧を混ぜて使用する、期限切れに近い電池を使用するなどしますと、すぐに電池が使用できなくなることがあります。
- マンガン電池・充電電池は使用しない。アルカリ電池と混ぜて使用しないでください。すぐに機器が動作しなくなります。
- 濡れた手で、或いは機器が濡れているときに電池を交換しないでください。故障の原因となります。
- 落下させた電池、圧力や衝撃を加えた電池は使用しないでください。液漏れの原因となります。

3. 電波について

- XL3000は特定小電力受信機を内蔵しています。電波の伝搬効率を高め、良好な電波状態で安定してご使用いただくためには、下記の事項をご注意の上ご使用ください。
- 送受信機とも床面や金属面から1m以上離して使用してください。金属面に密着していると、電波が飛ばない、受信しないなどの現象が出ます。
- 複数の送信機を至近距離で同時に使用しますと電波干渉により動作しないことがあります。

- 電波の飛距離は送受信機の設置場所及び設置環境により異なります。
- 鉄筋コンクリートの建物内、鉄製ドア、金属シャッター、金属格子、スチール家具などで囲まれている場所では極端に電波の飛距離が低下します。
- 電波の受信状況が悪い時は、本器を窓際、天井近くの高い場所、周りを囲まれていない見通しの良い場所に設置してください。
- 周囲に送信所、電波鉄塔、等がある場所では、強い電波の電波抑圧により、受信しないことがあります。

保証規定 無償保証期間は購入後1年間です

- 本商品には保証書はついておりません。お買い求めになった店舗のレシートの写しを保証書に代えて、この取扱説明書と共に大切に保管してください。故障による無償保証を行う時は、レシートの写しを添えて当社のお客様相談室にご連絡ください。
- 本商品を購入後1年以内に発生した故障、不具合の場合は下記の無償保証規定に従って無償で修理又は交換いたします。故障の原因を明確にして当社までご連絡ください。

無償保証規定

- 1) 取扱説明書及び本商品の注意書きに従った正常な使用で、保証期間内に故障した場合、無償修理又は交換いたします。
- 2) 故障の場合はご購入の販売店ではなく、直接、当社のお客様相談室に電話・FAX・メールなどでご連絡ください。
- 3) 無償保証に該当する故障の場合は往復の送料は弊社が負担いたします。

有償修理

レシートの写しの提示がなく、ご購入日が明確でない場合及び、保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。

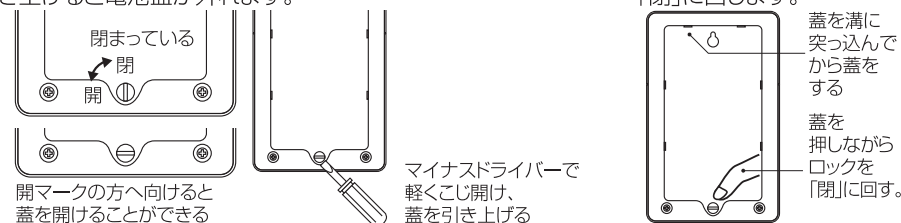
- a) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
- b) お買い上げ後の落下、取付場所の移動、輸送、不適當保存時の故障及び損傷。
- c) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天災地変、公害や定格値以上の静電気などの異常電圧その他の防御できない外部要因による故障。
- d) 一般家庭以外（例えば業務用の繁雑、長期連続使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
- e) 無償修理交換以外の運送費、諸掛費用はお客様のご負担となります。

本保証規定は日本国内においてのみ有効です。
This a warranty valid only in JAPAN.

使用方法 XL3010

1. 電池蓋の外し方と締め方

- ・電池蓋のロック解除つまみをドライバーで「開」マークの位置に回し、隙間にドライバーを差し込んで軽くこじ開け、蓋を引き上げると電池蓋が外れます。
- ・装着するときは蓋を押しつけ、ロックつまみを「開」から「閉」に回します。



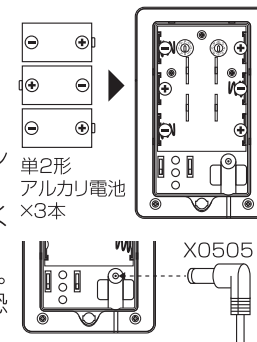
2. IDコードの設定

- 電池を入れる前に、IDコードを設定します。
- XL3000は、使用するXシリーズ送信機と同一のIDコードになっていないと動作しません。ご使用になる送信機のIDコードの「記号」と「番号」をXL3000のIDコード「記号」と「番号」に一致させてください。
- XL3000の工場出荷時は「P」「16」になっていますが、「P」「16」のままでは混信しやすいので、出来れば他の記号と番号に変更してください。

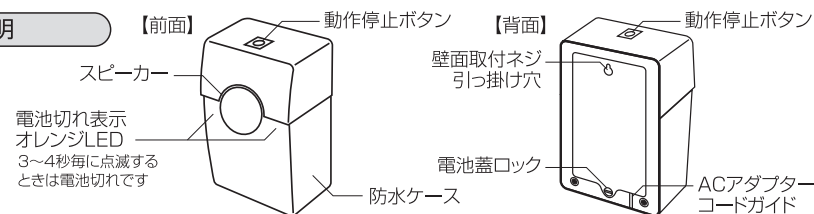


3. 電源(電池とACアダプターの併用禁止)

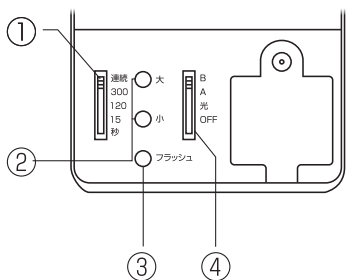
- 電池を使用する場合
 - ・新品の単2形アルカリ電池X3本をご用意ください。
 - ・+/-の極性に注意して入れてください。
- ACアダプターを使用する場合。
 - ・ACアダプターは、必ず専用のものを使用してください。
 - ・専用ACアダプター 型番:X0505(当社ワイヤレスチャイムXシリーズ用ACアダプター) をご使用ください。
 - ・屋外で使用する場合は、ACアダプター本体に防水処理をしてください。
 - ・ACアダプターを使用する場合は、電池を使用しないでください。併用しますと、電池が液漏れして 機器を損傷し動作しなくなる恐れがあります。



4. 外観説明



5. 電池ケース内部機能の説明 ①と④のスイッチは先の細い工具を使用して切り替えてください。



- ①「動作時間選択スイッチ」
上から「連続/300秒間/120秒間/15秒間」
途中で停止したい場合は、本体上部の「動作停止ボタン」を押します。
- ②「音量調整ボタン」(押して音量を上げ下げします)
上側「大」: 音量を上げる
下側「小」: 音量を下げる
- ③「フラッシュモード選択スイッチ」
フラッシュ中にこのボタンを押すとモードが変わります。
1.「点滅モード」 2.「流れるモード」
- ④「動作モード選択スイッチ」
下から「OFF/光/A/B」に切り替わります。
A:「光と音(光は動作時間中光るが、音は1回のみ動作)」
B:「光と音(動作時間中、光と音が動作し続ける)」
使用したい機能を選択してご使用ください。

6. 「光」をセットする。送信機を使わずに、フラッシュモードとフラッシュ時間を設定できます。

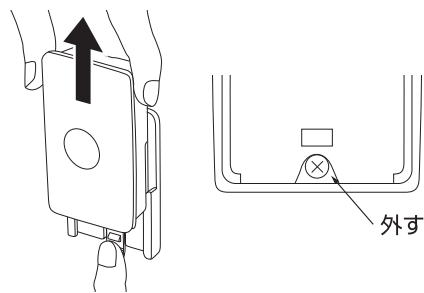
- 1)「動作モード選択スイッチ」④を「光」にします。
- 2)「音量調整ボタン」②(「大」と「小」どちらのボタンでもOK)を1回押すと光ります。
- 3)光っているときに「フラッシュモード選択スイッチ」③を押すと、モードが切り替わります。元のモードに戻すには、再度押します。
- 4)途中でフラッシュを止めるには、本体上部の「動作停止ボタン」を押します。
- 5)最後に「動作時間選択スイッチ」①で実際に使用するフラッシュ発光時間を選びます。

7. 「音量」をセットする。送信機を使わずに、音量設定ができます。

- 1)「動作モード選択スイッチ」④を「A」又は「B」にします。
- 2)「音量調整ボタン」②(「大」と「小」どちらのボタンでもOK)を1回押すと『ピンポン』音が流れます。
- 3)「音量調整ボタン」②の「小」を1回押すと音量が小さく変化します。何回か押して、好みの音量にしてください。音量を上げる場合は「大」を押してください。
- 4)セットした音量は、「動作モード選択スイッチ」④を「OFF」にするか、電池を抜いて入れ直す、或いは、ACアダプターの電源を入れ直すなどしますと中間音量に戻ります。
- 5)途中で音を止めるには、本体上部の「動作停止ボタン」を押します。
- 6)最後に「動作時間選択スイッチ」①で実際に使用する場合の動作時間を選びます。
- 7)送信機を使用して、実際にXL3000を動作させる場合は、送信機の選曲ボタンで選んだ曲が流れます。

8. 送信機(X10)を動作させて確認する。

- 送信機X10に電池を入れます。
- 1)送信機の取付プレートを引き抜きます。
- 2)本体止めネジ(中央、下部のネジを1個)を小さな+ドライバーを用いて反時計方向に回します。
- 3)本体を上下に分けて、裏蓋を外します。
- 4)付属のボタン電池を2個重ねて入れます。手前側が+です。両方のフックに電池が引っ掛かるように入れてください。なお、付属の電池はテスト用ですから、電池寿命が短い場合があります。



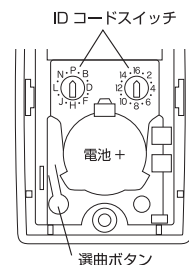
(ご注意)電池を入れるときは、電池に油分やクリーム等が付着しますと、接触不良により動作しない場合がありますので、指先を清潔に洗ってから電池に触れるようにしてください。また、電池に油分などが付着した場合は、電池を取り出し、ティッシュペーパーで電池を良く拭いてから、再度入れてください。

- 5)X10のIDが受信機XL3000と同一のID(アルファベットと数字)であることを確認します。
- 6)裏蓋を締める前に、押しボタンを押してXL3000が動作することを確認します(XL3000の「動作モード選択スイッチ」を「A」にしておきます)。

- 7)チャイム音を変えたい場合は、X10の選曲ボタンを押します。曲が流れたら曲が終わるまで聞き、もう一度選曲ボタンを押します。次の順番に選曲します。気に入った曲が流れたら、そこで選曲を中止します。

【選曲できる音の種類】 選曲ボタンを押すと1から順に曲が流れます。

- 1.ピンポンピンポン(チャイム音)(約5秒)
 - 2.ピンポンパンポン(チャイム音)(約10秒)
 - 3.エリーゼのために(約12秒)
 - 4.チャイルドフッドリメンバード(約8秒)
 - 5.グリーンズリープス(約12秒)
 - 6.おおスザンナ(約10秒)
 - 7.バスカー(約6秒)
 - 8.愛のオルゴール(約10秒)
 - 9.ホームスイートホーム(約8秒)
 - 10.ジングルベル(約10秒)
 - 11.ハッピーバースデー(約14秒)
 - 12.小鳥の鳴き声(約5秒)
 - 13.犬の鳴き声(約8秒)
 - 14.ブザー音(約10秒)
 - 15.サイレン音①(約30秒)
 - 16.サイレン音②(約30秒)
- 8)選曲が終わったら、前面の押しボタンを押して、最後に選曲した音が流れること確認します。
 - 9)裏蓋を被せて、隙間がないことを確認したら、ネジを締めます。



9. 送信機を増設する 送信機を複数個増設できます。

- ・使用する送信機のIDコードがXL3000と同じID(アルファベットと数字)であることを確認してください。(2.IDコードの設定参照)
- ・送信機を動作させます。動作手順は送信機に応じて異なります。送信機の動作方法はそれぞれの送信機の取扱説明書をご覧ください。
- ・テストが終わってからXL3000に電池蓋を被せロックしてください。
- (ご注意)送信機からの電波を受信して音が鳴っているときには、別の送信機からの電波を受信することはできません。
- ・使用できるXシリーズの送信機(下記の他、今後発売するXシリーズ送信機も使用できます)。

10. XL3000の電池蓋を閉めます(使用方法1.電池蓋の外し方と締め方を参照)

「ご注意」屋外で使用する場合は、防水のため、電池蓋はきちっとしまっていることを確認してください。

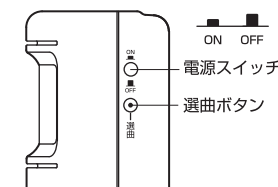
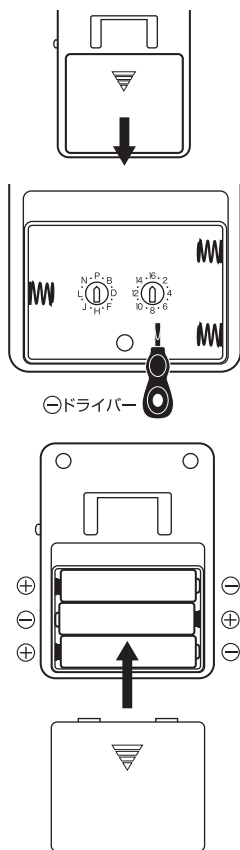
11. XL3000の設置方法

- 設置する壁面に付属の樹脂リブと木ネジを取付けます。この際ネジ頭が3~4mm程度壁面から出るようにしてください。
- 外壁などネジが効かない場合は付属の樹脂リブを使用します。(下穴を開け、樹脂リブを打ち込み、樹脂リブに付属のネジをねじ込みます)。
- 取り付けたネジの頭にXL3000の背面の引っ掛け穴を掛けてください。
- 防沫・防塵性能を維持するため、動作停止ボタンが上側になるように設置してください。
- 防沫・防塵等級はIP44相当(防沫仕様)です。屋外を使用する場合は軒下に設置してください。
- 地面に近い位置(地面から1m以内)に設置する場合は、受信性能が弱くなる可能性がありますのでご注意ください。
- 水に浸かる、水はけが悪いところには設置しないでください。
- 使用温度範囲は-10℃~+50℃、湿度範囲は90%以下です。屋外設置の場合、極端に寒い場所や 熱い場所では動作しないことがあります。

8. 送信機(X50)を動作させて確認する。

●送信機X50に電池を入れます。

- 1) 人感送信機のレンズフードを取外します。レンズフードは実際に使用する場所で、水平方向の感知範囲を狭めたい時に使用します。
- 2) 電池蓋の突起矢印に親指を当てて押し込みながら電池蓋を下方へ引き抜きます。
- 3) 電池ケース底部にIDスイッチが2個あります。左側が記号(アルファベット)、右側が数字です。このIDの記号と数字がLEDピカフラッシュXL3000と同一のIDの記号と番号であることを確認してください。異なる場合は動作しません。切替えるには、付属の専用ドライバーを使用します。
- 4) 新品の単4形アルカリ電池×3本を別途ご用意ください。
- 5) 電池の+/-に注意して、電池ケースに入れます。
(ご注意) 電池を入れるときは、電池に油分やクリーム等が付着しますと、接触不良により動作しない場合がありますので、指先を清潔に洗ってから電池に触れるようにしてください。また、電池に油分などが付着した場合は、電池を取り出し、ティッシュペーパーで電池を良く拭いてから、再度入れてください。
- 6) 裏蓋を締めます。
- 7) チャイム音を選曲します。
・X50の電源スイッチをONにします。赤いランプが点滅します。
・X50の選曲ボタンを押します。曲が流れたら曲が終わるまで聞き、もう一度選曲ボタンを押します。次の順番に選曲します。気に入った曲が流れたら、そこで選曲を中止します。



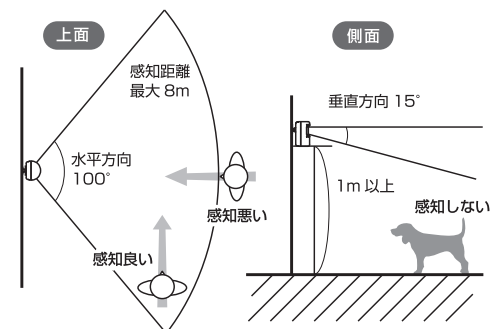
【選曲できる音の種類】 選曲ボタンを押すと1から順に曲が流れます。

- 1.ピンポンピンポン(チャイム音) 2.ピンポンパンポン(チャイム音) 3.エリーゼのために 4.チャイルドフッドリメンバード 5.グリーンスリーブス 6.おおスザナ 7.バスカー8.愛のオルゴール 9.ホームスイートホーム 10.ジングルベル 11.ハッピーバースデー 12.小鳥の鳴き声 13.犬の鳴き声 14.ブザー音 15.サイレン音①(30秒) 16.サイレン音②(30秒)
- 8) そのまま人感センサーをあなたの方に向けておけば、40秒以後に選んだチャイム音が鳴ります。

9. 人感送信機の動作

人感とは?

- ・人の動きを感知するモーションセンサーが人から出る赤外線動きを感知して電波を出します。
- ・設置する場合は、人が通る方向に対して直角の位置に取付けます。人の動きと同一方向にセンサーを向けますと感度が悪く動作しないこともありますのでご注意ください。
- ・床面より2m程度の高さに設置すると遠くまで感知できます。
感知距離は最大8m、感知角度は水平方向100度、垂直方向15度です。1m以上の地上高に設置してください。
- ・設置場所については「人感センサーの動作について」をお読みいただきから取り付けてください。



10. 人感センサー使用上の注意

必ずお読みください。下記の障害の少ない通路、空間が広い部屋、直射日光が正面から当たらない場所、外の車の排気ガスに影響されない場所等を選んで人感センサーを設置してください。

- 1) 人感センサーは赤外線の発生源の動きを感知するセンサーですので、人体以外にも下記の様な赤外線の動きを感知することがありますので、影響を受けにくい場所を選んで設置してください。

■誤動作しやすい発生源

- ・犬、猫、ネズミ、鳥等の小動物
- ・エアコンの屋外機等の温まった空気の流れ
- ・車の排気ガスの流れ
- ・走行後の車のボンネットや排気の熱気
- ・正面方向の遠く離れたところで大型車の通過時
- ・日光が急に差してきた時の建造物の温度上昇(冬季や早朝、雨上がりなど)
- ・夏季高温時に太陽光が当たる場所の熱風
- ・室内の急激な温度変化(上昇又は下降)による空気の対流
- ・植物の葉や枝の動き(早朝や夕刻の気温変化の激しい時)
- ・洗濯物やカーテンなど風による布の動き
- ・人感センサーの感知範囲正面にガラス・アルミ板等の反射物がある場合の感知範囲と反対を通過する車や人の動き

2) 人感センサーはうまく赤外線の動きを感知できなかった場合は動作しないことがあります。

■動作しない場合のある発生源

- ・雨に濡れた傘を差している人
- ・寒冷時にコートや雨合羽を着て帽子をかぶった人
- ・寒冷時に身体が冷え切っていて厚着をして皮手袋をした人
- ・夏季の高温時に太陽光の下を通過する場合
- ・店舗などで、人の出入りが多い場合受信チャイムが鳴っている間は、次の人を感知してもチャイムは鳴りません。
- ・人が静止しているとき

3) 設置状態に問題があると感知できない場合があります。

■動作しにくい設置状態

- ・人が動く方向に向かって人感センサーを設置した場合
- ・人感センサーの直下の床に近い場所など感知範囲外を通過する場合
- ・人感センサーをポリ袋などに入れて使用している場合
- ・人感センサーのレンズ(感知部の開口部)に埃が付着している場合
- ・人感センサーの感知範囲内に木の枝葉、建造物の一部、ガラス等の障害物がある場合・棚や台、机の上の奥に人感センサーを置いた場合
- ・通路に連続して人感センサーを複数個設置した場合チャイムやメロディが終了する前に、次のセンサーが動作しても受信機は動作しません
- ・夏期の高温時には人感センサーの直前でしか動作しないことがあります。

(ご注意) 屋外に設置する場合は、外気温、太陽光線、風、樹木、草、土、建造物、車両の動き、動物など、赤外線の動き(熱流)により誤動作することがあります。設置場所にはご注意ください。

11. 送信機を増設する 送信機を複数個増設できます。

- ・使用する送信機のIDコードがXL3000と同じID(アルファベットと数字)であることを確認してください。(2.IDコードの設定参照)
- ・送信機を動作させます。動作手順は送信機に応じて異なります。送信機の動作方法はそれぞれの送信機の取扱説明書をご覧ください。
- ・テストが終わってからXL3000に電池蓋を被せロックしてください。(ご注意)送信機からの電波を受信して音が鳴っているときには、別の送信機からの電波を受信することはできません。
- ・使用できるXシリーズの送信機(下記の他、今後発売するXシリーズ送信機も使用できます)。



ドア窓送信機 X30



人感送信機 X50



サウンドセンサー X70



押しボタン送信機 X10

13. XL3000の電池蓋を閉めます (使用方法1. 電池蓋の外し方と締め方を参照)

(ご注意) 屋外で使用する場合は、防水のため、電池蓋はきちっとしまっていることを確認してください。

14. XL3000の設置方法

■設置する壁面に付属の樹脂リブと木ネジを取付けます。この際ネジ頭が3~4mm程度壁面から出るようにしてください。

■外壁などネジが効かない場合は付属の樹脂リブを使用します。(下穴を開け、樹脂リブを打ち込み、樹脂リブに付属のネジをねじ込みます)。

■取り付けしたネジの頭にXL3000の背面の引っ掛け穴を掛けてください。

■防沫・防塵性能を維持するため、動作停止ボタンが上側になるように設置してください。

■防沫・防塵等級はIP44相当(防沫仕様)です。屋外使用する場合は軒下に設置してください。

■地面に近い位置(地面から1m以内)に設置する場合は、受信性能が弱くなる可能性がありますのでご注意ください。

■水に浸かる、水はけが悪いところには設置しないでください。

■使用温度範囲は-10℃~+50℃、湿度範囲は90%以下です。屋外設置の場合、極端に寒い場所や熱い場所では動作しないことがあります。

保証規定 無償保証期間は購入後1年間です

- 本商品には保証書はついておりません。お買い求めになった店舗のレシートの写しを保証書に代えて、この取扱説明書と共に大切に保管してください。故障による無償保証を行う時は、レシートの写しを添えて当社のお客さま相談室にご連絡ください。
- 本商品を購入後1年以内に発生した故障、不具合の場合は下記の無償保証規定に従って無償で修理又は交換いたします。故障の原因を明確にして当社までご連絡ください。

無償保証規定

- 1) 取扱説明書及び本商品の注意書きに従った正常な使用で、保証期間内に故障した場合、無償修理又は交換いたします。
- 2) 故障の場合はご購入の販売店ではなく、直接、当社のお客さま相談室に電話・FAX・メールなどでご連絡ください。
- 3) 無償保証に該当する故障の場合は往復の送料は弊社が負担いたします。

有償修理

レシートの写しの提示がなく、ご購入日が明確でない場合及び、保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。

- a) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
- b) お買い上げ後の落下、取付場所の移動、輸送、不適当保存時の故障及び損傷。
- c) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天災地変、公害や定格値以上の静電気などの異常電圧その他の防御できない外部要因による故障。
- d) 一般家庭以外(例えば業務用の繁雑、長期連続使用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
- e) 無償修理交換以外の運送費、諸掛費用はお客さまのご負担となります。

本保証規定は日本国内においてのみ有効です。 This a warranty valid only in JAPAN.

リーベックス株式会社 〒333-0801 埼玉県川口市東川口3-10-5

お客様相談室

TEL:048-294-4945

FAX:048-294-4948

http://www.revex.jp/